

せん。よその地域からの応援や地域のボランティアさんたちの手助けも必要なるでしょうが、それで十分な人手を確保できるかどうかはわかりません。

スマイルおぐやおぐのあかりの入居者さんは車いす人も重い自閉症の人もいます。たとえいつもより介護職員が不足していても、可能なかぎり、スマイルおぐで過ごした方が無難です。

加えて、福祉避難所にはなっていませんが、外からの避難を受け入れることができるかも取り組むべき課題です。受け入れるとして、どのような人を何人くらい、どのくらいの期間などを、そのときに従事できる介護職員数と相談しながら考えることとなります。

8年前の東日本大震災のときには、団地のエレベーターが使えない、電車が通じていないなどの理由で、2名の人をひと晩預かりました。

たとえ受け入れたとしても、1週間なら何とか続けられても、2週間3週間となると、スタッフは疲れ切ってしまう体調を壊しかねません。

それにあわせて食料や毛布な備品をどこまで用意するかも考えなければなりません。入居者や職員分は当然として、外から避難してきた人の分をすべて事業所で用意するのでは金銭的な負担が大きすぎます。行政や社協との協力が欠かせません。

その他、視覚障害、聴覚障害の人の情報伝達をどうするか、人工透析している人や人工呼吸器を使っている人はどうするか、ふだん飲んでいる薬はどうするかなど、取り組むべき課題は山のようにあります。

このようなことを病院で寝泊りしながら考えました。

【行動援護説明会】

すでにお知らせしたように、当事業所は今年2月から「行動援護」を始め、すでに3名の利用者さんに支給決定が出ています。この「行動援護」について、詳しく知りたいという声が行政にも寄せられているようです。そこで、早ければ5月下旬にも説明会を行う予定です（日程は決まり次第お知らせいたします）。なお、行動援護については、この「Et Voila」2月20日号（第6号）に簡単に触れていますのでお読みください。（ホームページ <http://afnet.ne.jp/> にも掲載されています）

グループホーム3号館開設に向けて 介護スタッフ大募集!!

正社員 月給:22万~30万円以上

時給:1000円~1300円

1夜勤19,000円~(16:00~翌10:00)

社会保険完備 交通費(自転車を含む)支給

身体介護、家事援助、外出支援、通院支援、送迎

障害児タイムケア（障害のある子どもたちのお世話と遊び相手）

グループホーム(早朝、日中、夜間、宿泊勤務)

土日出勤、夜勤のできる人、大歓迎

発行・編集：川口仁志

特定非営利活動法人あふネット

〒116-0011 東京都荒川区西尾久 6-30-4 富田ビル1F 03-3809-8500

合同会社あふまん